

横浜駅東口



特殊記号

× : オブジェ など

参考図 国土地理院 基盤地図情報
地図作成 太田 知也
作成期間 2024年4月～2024年5月
2025年3月～2025年6月
OCAD2020 Licence 24923

120m

神奈川県横浜市
ISSprOM2019-2 準拠
等高線間隔 2m
縮尺 1:4000



全体

横浜駅東口の特徴である、歩廊や地下道による階層構造を利用したルートチョイスをつくり、一方で実行ではスピードが落ち切らないようなバランスを求めてコースを設定した。

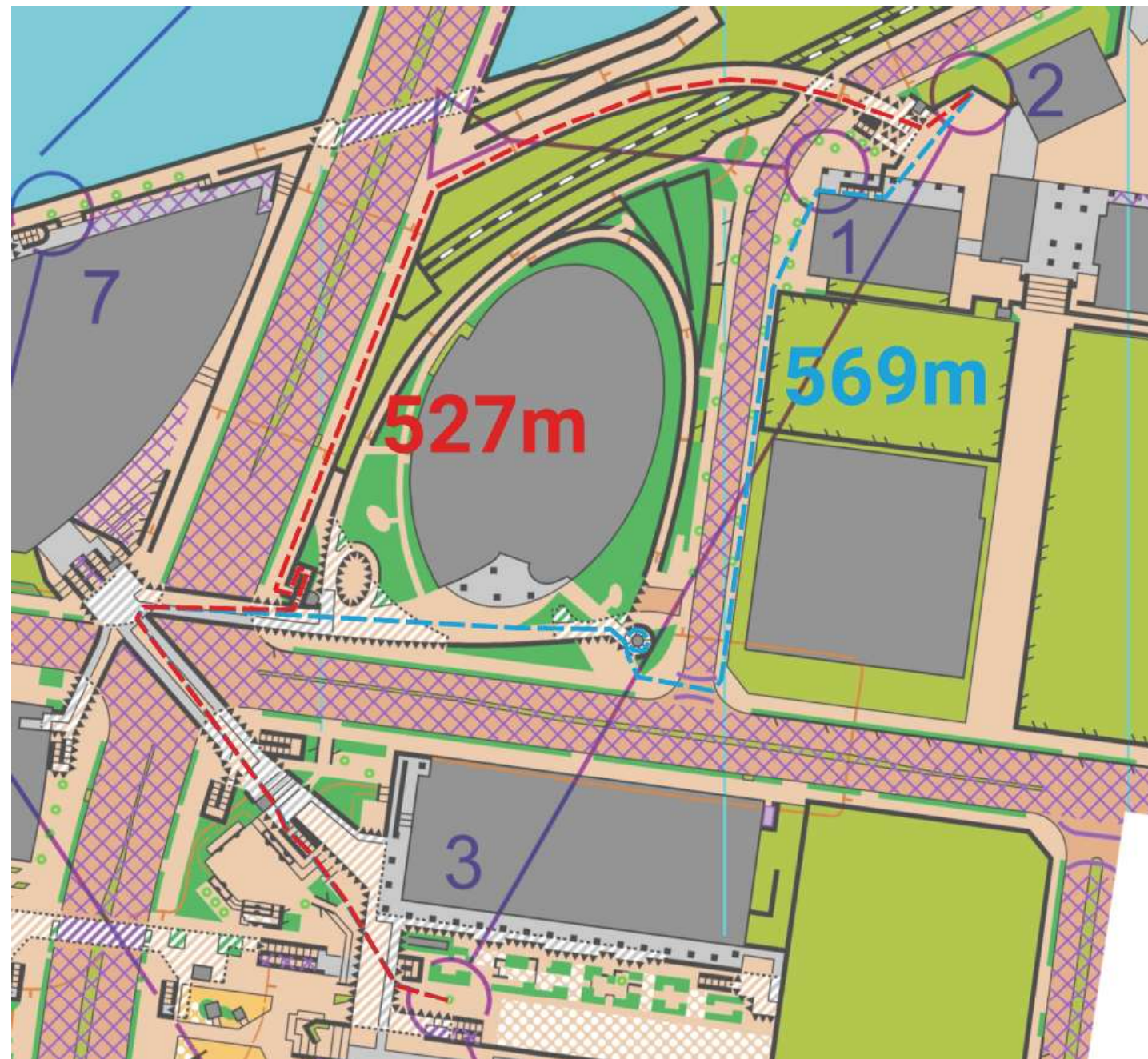
階層をつなぐ階段と、平地とのスピードの切り替えが重要になる。

2→3

想定は赤

水色は 40m の差があり階段も 1 箇所増えるため、確実に赤を選びたい。

△→1→2の細かな実行の忙しさの中で、脱出からレッグ線を大きく外れていくルートを確認に引けるかを課題として設定した。

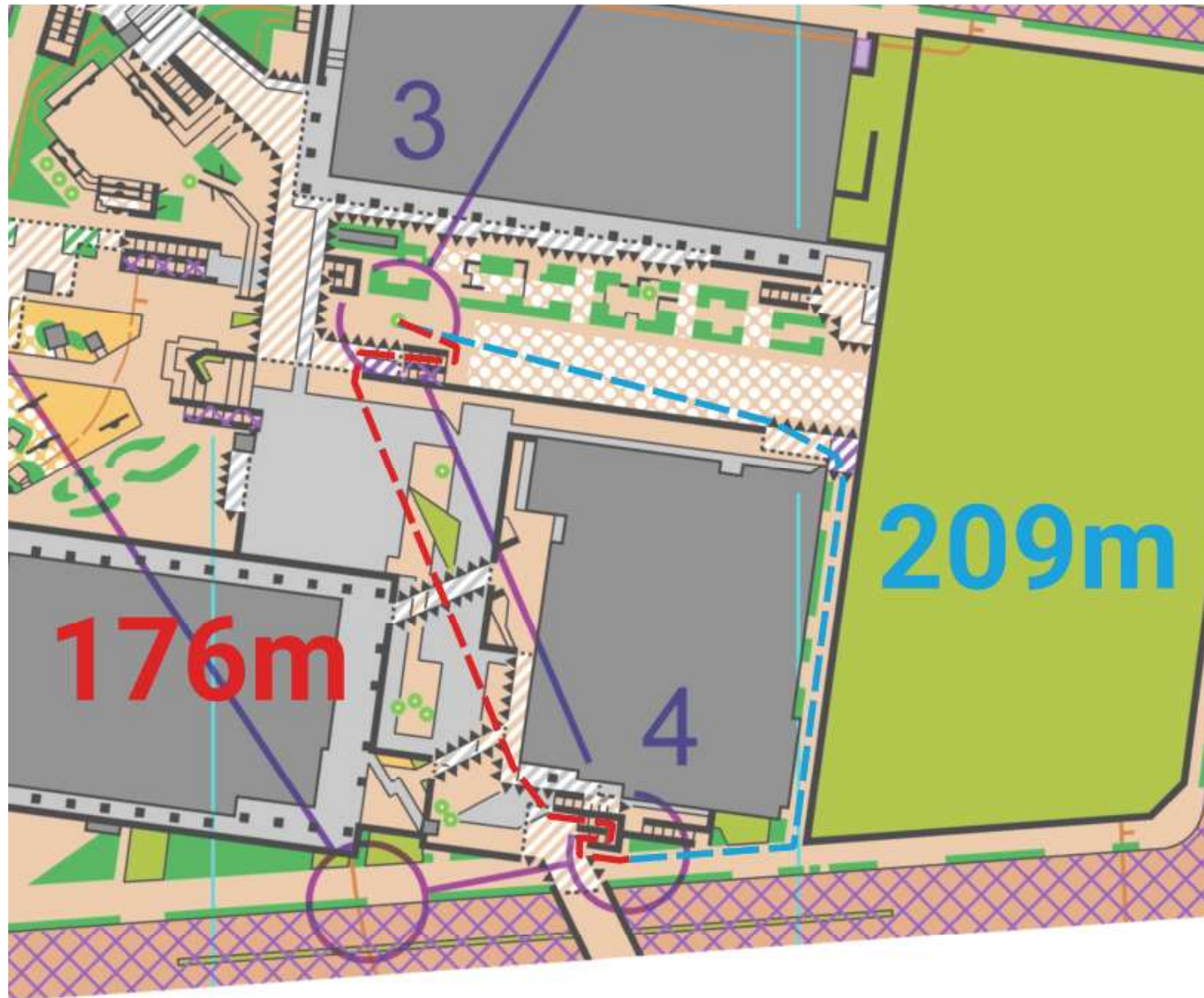


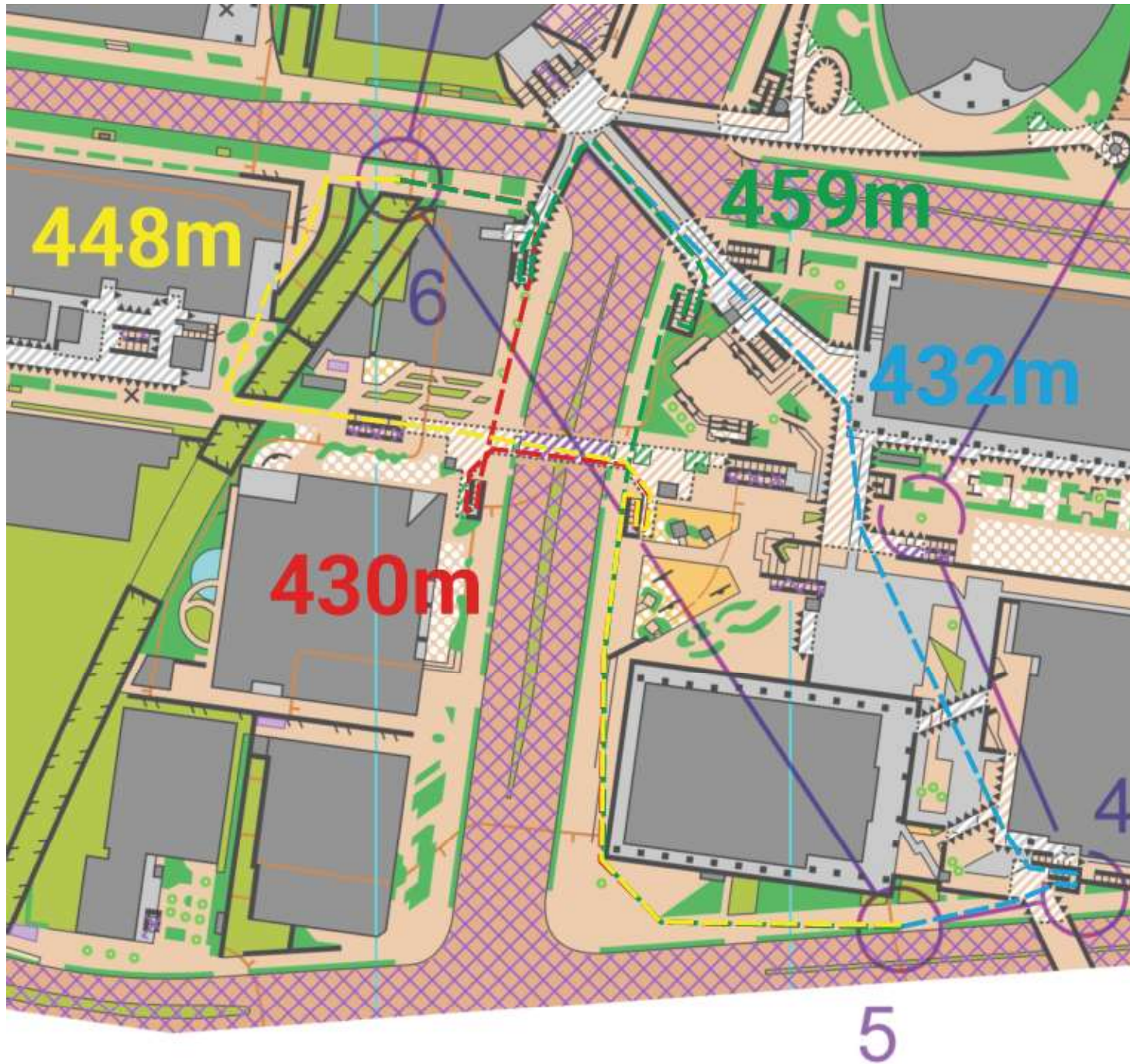
3→4

想定は赤

中盤が意外とシンプルにこなせる。4ポまわりが細かいので、スピードを落として詳細に読む必要がある。階段がないことを考慮すると水色もそこまで差がつかないと思われる。

階層構造をシンプルに読む必要のあるレッグとして設定した。



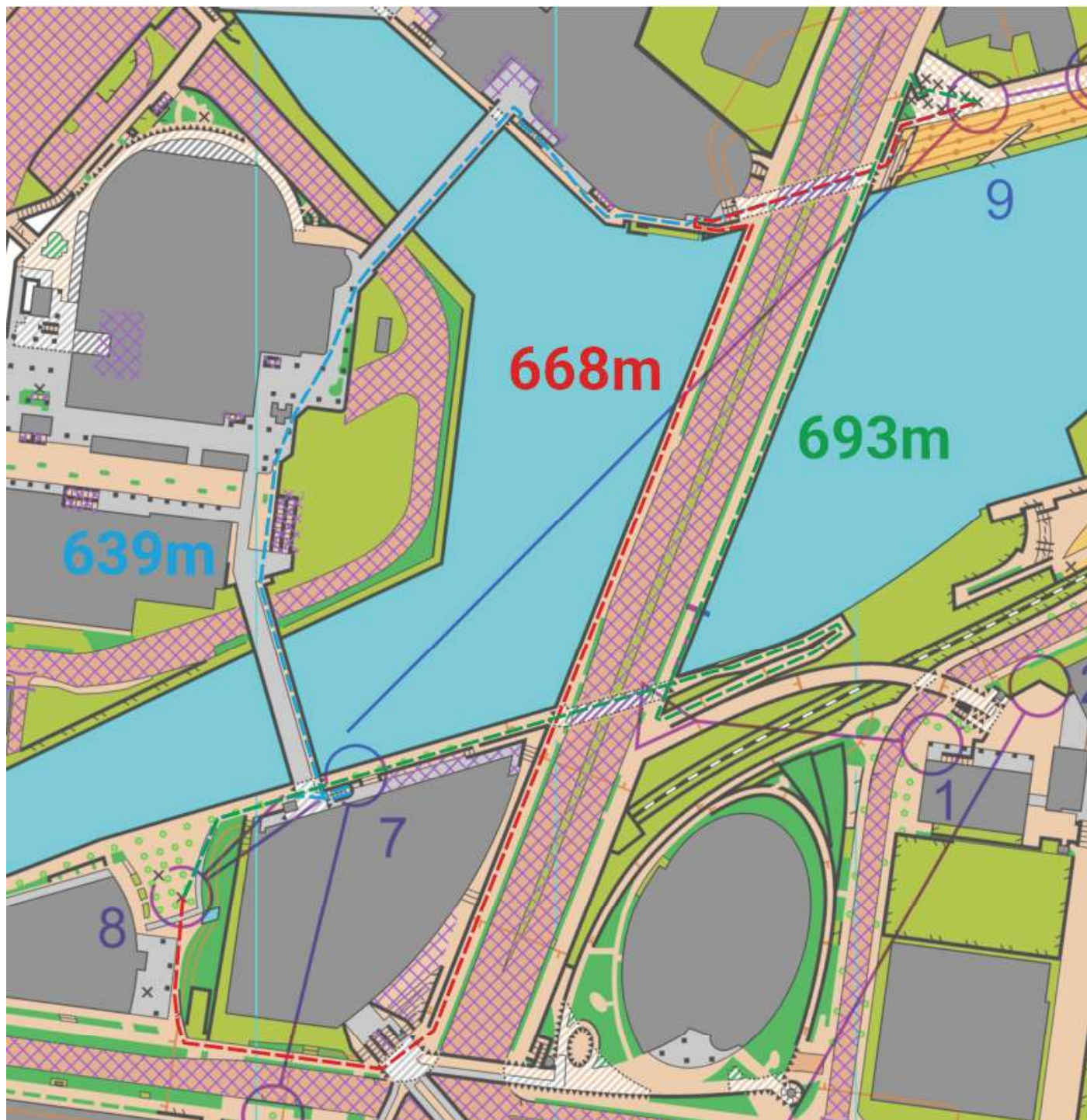


5→6

想定は赤または水色

階段の数はどれも同じ。黄、緑に比べると20-30m短い。全体的にナビゲーションの必要がない赤の方がスピードが出しやすいかと思われる。

階段から素早くルートファインディングできれば、あとは実行によって差がつくレッグとして設定した。



8→9

想定は赤

水色に比べて 30m 程長い
(3:30/km で 7-8s) が水色
は階段の昇降が 1 回ずつある。

レース終盤、鋭角のレッグ線
に対して視野を広く持って
ルートを選択することが重要
となるような、シンプルでルー
ト差のつくロングレッグを配
置した。